

# ワールドシンキングデイ2014 活動例について

ここでは、2014年のワールドシンキングデイのテーマ「girls worldwide say“教育はすべての少女と少年の未来への扉を開く”」に沿った、具体的な活動を紹介します。

MDG\*2「普遍的初等教育の徹底」の達成に向けての活動でもありますので、年間を通してさまざまな場面でご利用ください。

この活動例は、世界連盟が開発した“World Thinking Day 2014 MDG2 Activity Pack”から一部抜粋し、日本語に訳したものです。英語版は、世界連盟のワールドシンキングデイのウェブサイトからダウンロードできます。  
[www.worldthinkingday.org/en/activities10](http://www.worldthinkingday.org/en/activities10)

ワールドシンキングデイのウェブサイトでは、世界のさまざまな情報を得て、世界の仲間とつながることができます。2014年のワールドシンキングデイのテーマについては、日本連盟のウェブサイトをご参照ください。

([www.girlscout.or.jp/contents/wp-content/themes/girlscout/downloadcenter/docement/wtd/wtd2014letter.pdf](http://www.girlscout.or.jp/contents/wp-content/themes/girlscout/downloadcenter/docement/wtd/wtd2014letter.pdf))

## リーダーへ

ワールドシンキングデイを機に、私たちの運動の1千万人のガールガイド・ガールスカウトとともに、確実に世界のすべての少女が学ぶ権利を得て、学ぶことにより最大限の可能性を伸ばすことができるように活動しましょう。日本では、当たり前のように感じられている学ぶ権利について改めて考える良い機会となるでしょう。学ぶとは何か、学習の先にある未来、また自分たちの学ぶ環境について、繰り返し考えてみましょう。

## この活動例は、

- 4つの分野に分かれています。
- 団でMDG2について考える活動を実施するためのアドバイスです。

## 活動を通して少女が、

- すべての人が質の高い教育を得られるようにするための意見を述べられるようになります。
- 自分の教育環境をよりよくし、自分の人生を望んだものにするために学習がどんなに役立つかについて理解しましょう。
- ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の教育と学習について、理解を深めましょう。
- ワールドシンキングデイファンドを集め、世界中の素晴らしいガールガイド・ガールスカウトのプロジェクトを支援しましょう。

\*MDG:ミレニアム開発目標の略

## 4つの分野

この活動例では、学習と教育を下記の4つの分野に分けて探求します。

### 1. 質の高い教育

学校や先生の質の高さにより、子どもの学習意欲は左右されます。すべての少女と少年は、それぞれの将来に必要なとされる十分な教育の機会を等しく得られるべきです。なぜなら、知識や技能がその人の得られる機会を決めてしまうからです。すべての人が、質の高い教育を受ける権利を持っています。

しかし、質の高い教育とは、どのようなものでしょうか？なぜ、それが重要で、私たちはどのように向上させることができるのでしょうか？

### 2. 生涯学習

学習には終わりがありません。世界は日々変わり続けているため、常に新しく学ぶことが出てきます。若者は、自分の望む人生を得るために必要なことを学べる状況にいなければなりません。教育は、未来への扉の鍵を提供します。閉められている扉を開けるのです。

あなたはどのように学び、学習はあなたの人生にどのように役立っていますか？どのように他の人々を学ぶ気にさせることができるのでしょうか？

### 3. 教育に壁はない

残念ながら、すべての人が学校で最良の教育を受けているわけではありません。多くの若者は、壁にぶつかり、教育の機会を失っています。もちろん、そのために彼らの将来は限定されてしまいます。必要ではあっても、すべての人が学校に行くわけではないということを念頭に置いておかなければなりません。私たちは、教育への障害を取り除くよう活動するべきです。あなたなら助けることができます。

若者は、どのような壁に直面しているのでしょうか？私たちは、どのようにその障害を取り除くことができるのでしょうか？

### 4. ガールガイド・ガールスカウトにおける教育

世界中のガールガイド・ガールスカウトの連盟は、学校外のノンフォーマル教育環境で、子どもと若者に独特で興味深い教育の機会を提供しています。私たちは、ガールガイド・ガールスカウト活動を通して多くのことを学びます。そして、これらの技能は、学校で学ぶことと同じくらい重要なことなのです！

ノンフォーマル教育とはなんのでしょうか？学校外で、どのように学ぶのでしょうか？ガールスカウトではどのように学ぶのでしょうか？

# 活動をやってみよう

## 活動例には、教育と学習について考える活動が詰まっています。

教育はすべての人にとって、より良い未来へつながる扉の鍵となります。ここに掲載されている活動は、同年代の仲間が得ることのできる(得ているべき)機会について、私たちが気にかけていることを示し、世界中に広がる一つの運動として重要な問題のために活動するための素晴らしい道筋となります。

学校は、生徒に生きるための技能を身につけさせ、最大限の可能性を伸ばせる力をつける場です。しかし、学校ではない他の学習方法もあるのです。

## 活動を選択する

団の会員や地域社会を一番よく知っているのは、あなたです。活動を選ぶ際には、あなたのグループに最も関連があり、適しているものを自分で判断してください。あなたや地域の状況に合わせて、またすべての会員が参加できるようにするために、活動に変更を加えるのは自由です。活動例を基本とし、各団や地域の特徴、会員の個性などに合わせて、言葉を変えてみるのもよいでしょう。会員の年齢、興味、能力を考慮すると同時に、学習活動では、そのグループが居心地良く活動できてこそ最高の効果が得られることを忘れないでください。

適切な活動を選択するための参考として、各活動には次の案内がついています。

	活動目的
	所要時間
	準備するもの
	対象年齢／適切な人数

\*対象年齢は、  
年少部門＝テンダーフット、ブラウニー、ジュニア部門  
年長部門＝シニア、レンジャー部門を目安として





## ミレニアム開発目標 (MDG) 2について

MDG2「普遍的初等教育の徹底」は、2015年までに、子どもがどこで暮らしていても、男女の差なく全員が初等教育をすべて修了できるようにすることを目標にしています。

教育は、基本的人権の一つであり、人間としての尊厳と自由への闘いに必要なものです。1億2,500万人の子どもと8億8千万人の成人のその権利が、毎日侵害されているのです。

世界的な統計は、国際社会における私たちの暮らしをデータで示しますが、国による、もしくは国内での教育の差違については示してくれません。この活動例やワールドシンキングデイのウェブサイトには、あなたの国の教育について学ぶきっかけとなる情報が掲載されています。

国際社会は、私たちが目標に向かって進歩しているかどうかをどのように測り知るのでしょうか？

MDG2達成に向けた進捗状況の指標となるのは、次の3点です。

- 2.1 初等教育への入学率  
(初等教育年齢の子どもの総人口の何パーセントが、実際に学校に入学していますか?)
- 2.2 小学1年生から学校に通い始めた児童が小学校を卒業する割合  
(小学校入学者のうち、中学校、高校、大学を卒業する割合はどうでしょうか?)
- 2.3 15-24歳の女性と男性の識字率  
(15-24歳の若い女性と男性の識字率はどのくらいでしょうか?)

ガールスカウト日本連盟の機関誌、Girl Scoutingの38号とOLAVEの23号には、これらの指標に関連した記事が掲載されていますので、参考資料としてご活用ください。

### 教育と学習に関する世界連盟の教材

世界連盟は、世界中の若者が可能性を最大限に伸ばすことができるようにするために体験学習を提供しています。その活動の中で、若者は人生のための価値観や技能を育てます。下記の学習に関するさまざまな教材をご活用ください。すべて世界連盟のウェブサイトからダウンロードできます(英文)。

#### 世界連盟ウェブサイト: [www.wagggg.org](http://www.wagggg.org)

- Be The Change Community action kit
- Together we can Change Our World pack on the Millennium Development Goals(MDGs)  
(日本連盟ウェブサイトにて、日本語版「GATと8つのアドボカシーメッセージ〜プログラムヒント集」をダウンロードできます。)
- Voices against Violence non-formal education curriculum
- Smart Surf internet safety pack
- World Thinking Day packs, covering different MDGs each year
- Packs on climate change, biodiversity and other environmental topics

# 1. 質の高い教育

## あなたは、どこに立ちますか？

	教育や重要な問題についての批判的視野を養う
	10分
	なし
	年少部門／最大で25人（参加者が、たくさん話すことができるように、大人数の場合はいくつかのグループに分けてください）

### 活動方法

1. 会場の中央をあらかじめ設定し、参加者にわかるように示しておきます。

リーダーは、右に提示された意見の例の中から一つを読みあげます。

その意見に対して、参加者は「同意する」か「同意しない」か、会場のどこに立つかにより自分の考えを表明します。

「同意する」場合は、会場の中央に立ちます。

「同意しない」場合は、中央から離れて立ちます。

会場の中央に近い場所に立つほど、強く同意し、中央から離れるほど、同意しないということです。

（参加者があまり遠くまで行かないように、移動可能な範囲を決めておきましょう）



### 活動のアドバイス

別の方法として、長いロープを床に置いて実施することもできます。

床に置いたロープの両端を、「同意する」端と「同意しない」端と決めて、リーダーが読んだ意見を聞いたら、ロープの上立つ位置によって、自分の意見を示します。（この場合、ロープの真ん中が中立です。）

2. 一つの意見ごとに、全員が位置についてから、「なぜ、そこに立っているのか」と尋ね、その理由を話してもらいます。このとき、一人だけに聞くのではなく、いろいろな人の話を聞くようにしてください。参加者の答えは、どれも間違いではなく、正解もありません。

話し合いをして、自分の考えを変えたいと思った場合は、新しい考え方を示す位置に移動することができます。その場合は、なぜ移動したのかを尋ねましょう。

短い話し合いをしたあとに、次の意見についての活動を始めましょう。

話し合いのテーマは、最も重要だと思われるものから始め、各意見にかける時間には、制限をつけるとよいでしょう。



### 提示する意見の例

- 私は、学校に行くのが好きです。
- 学校や教育は大切です。
- 悪いことをする子どもは、罰を受けるべきです。
- 学校は、どんな人でも通えるようになっているべきです。
- 私は、学校よりも学校外で学ぶことが多いです。
- 先生は、いつも正しい人です。
- 誰でも、みんなが学校へ行かなければなりません。
- 学校は楽しいところであるべきです。

# 1. 質の高い教育

## お手本を演じる

	質の高い教育を提供するための、 教師の重要性に気づく
	30分 (演習：20分、ふりかえり：10分)
	活動に応じて準備する [例：紙 (折り紙)、棒とロープ (家作り用) など]
	年長部門 / 7~25人 (7~9人のグループに分ける)

## 活動方法

先生は生徒の学習を支援し、お手本となる非常に重要な役割を担っています。どうしたら、そのような役割を担うことができますか？グループで考えてみましょう。

1. 7~9人のグループをつくり、グループの中から有志1人が先生役となり、右の活動例の1つを行います。グループの残りのメンバーは生徒役となり、普段学校でやっているように生徒としてふるまいます。
2. 定期的に活動を中断し、先生がしていることをどのように生徒が感じているか尋ねます。先生は、より良くするために何ができたでしょうか？



## 活動のアドバイス

必ず、先生を演じている人についてではなく、演技上での先生に対する発言をしてください。すべての発言の最初に「演技上の先生は〇〇しました」と言いましょ。これは、発言がその人へのものではなく、あくまで演技上の役割に対するものであることを明確にします。

3. 次に、新しく先生役をやるメンバーに提案された改善点を実行するよう依頼します。さまざまな参加者に機会を与えるために2~3回、役割を交代しながら演習してください。

## 活動例：

- 折り紙で(飛行機、カエルまたは人形など)を作る。
- 棒やロープ、トランプなどで家を作る。
- ゲーム(たとえば数独、トランプなど)を教える。
- 歌を教えて一緒に歌う。



## 活動のアドバイス

参加者が先生の役割を引き継ぎやすくするため、グループの大部分の人がすでに知っている活動を実施するようにしましょう。



## 考えるポイント

- 先生であることは簡単ですか？それは、なぜですか？
- よくできたことは、何でしたか？また、できなかったことは何ですか？
- 先生が良い働きができるように、どのように協力できますか？
- 先生は子どもたちにとって、よりよいお手本となるために何ができるでしょうか？

## 2. 生涯教育

### 学びの宝箱

	自分が学んだこと、将来学びたいことを認識する
	30分（事後、定期的に継続）
	箱、絵具、接着剤、装飾（貝・真珠・リボン等）、色紙
	年少部門／人数制限なし

### 活動方法

1. 参加者は、各自小さな箱（空箱・食品容器・ふたのある瓶など）を用意します。
2. この箱を宝箱・宝石箱にするために、飾りをつけます。色を塗る、箱の表面に貝・布・真珠または自然の物を貼り付けてもいいでしょう。
3. これはあなたの学びの宝箱です。  
あなたが大切な何かを学ぶ度に、その内容を小さな「緑色の紙」に書いてください。  
また、あなたが将来学びたいことを思いついたら、小さな「青色の紙」に書きとめてください。  
箱にすべてを入れておき、あなたが過去に学んだすべてのことと、将来学びたいことを、定期的に確認します。



### 年長部門の場合

学習日誌をつけましょう。

あなたが学んだこと、興味のあることを記録し、あなた自身の学習の道のりを記録するためのノートを作ります。



### 活動のアドバイス

あなたが用意できる色紙を使いましょう。もし、色紙がなければ、カラーペンなどを使って過去と未来の区別をする方法でもよいでしょう。



### 考えるポイント

- あなたが本当に学びたいことを学ぶためには、どのような方法があるでしょうか。
- あなたが望む学びを実現させるために、段階的な計画を作りましょう。



## 2. 生涯教育

### 大きくなったら何になりたい？

	学習が将来のチャンスへつながることに気づく
	30分（活動：15分、 振り返り：15分）
	9本の紐（それぞれ長さ3メートル）
	年少部門／人数制限なし

### 活動方法

1. 将来になりたい職業によってグループを作ります。将来の夢が同じ（あるいは似た）人同士で円になって立ち、その円の真ん中に互いの片手が重なるように置きます。もし同じ職業に就きたい人が多すぎる場合は、6人以下のグループに分けます。

9本の紐は、右記の技能を表していることがわかるように、それぞれに印をつけておきます。参加人数が多い場合は、9本を2組、3組と増やして用意しましょう。

2. 次に、リーダーが右記のリストから技能を一つずつ読み上げます。9本の紐がそれぞれの技能を表しますので、各グループが将来の夢として掲げた職業に必要なと思う技能の紐をみんなで持ちます。

### —どの技能が必要ですか？—

- 読み書き
- 計算
- 元気で、健康である
- コンピューターやインターネットの使い方を知る
- (自分がどこにいるのか) 地理を把握する
- 母国語以外の言語で話す
- 躊躇せず人前で話す
- 他の人々と一緒に仕事をする
- 宗教に関する知識

3. 最終的に、ほとんどのグループが紐の大多数を持つという結果になります。

4. まとめ：多くの基本的な技能を必要としない職業はほとんどありません。下記の考えるポイントについて話し合みましょう。



### 考えるポイント

- なぜ多くの職業においてこれらの技能が必要とされるのでしょうか？
- 他と比較してより重要な技能はありますか？また、それはなぜですか？
- これらの技能をひとつも必要としない職業はありますか？また、それは何ですか？
- どこでそれらの技能を学ぶことができますか？

## 3. 教育に壁はない

### 一歩、一歩

	学習の障害になるものについてよく考える
	55分（準備：20分、活動：20分、ふりかえり：15分）
	役割カード（一人一枚）
	年長部門／人数制限なし

### 活動方法

- 次のページの役割カードを参加者が一人一枚持てるように、コピーして配ってください。参加人数がカードの役割数以上であれば、数人が同じ役割になってもかまいません。
- 参加者は、配られたカードに書かれている人になりきります。あなたのキャラクターに名前をつけましょう。兄弟や姉妹は何人いるか、どんな仕事をしているか、趣味は何かなど、設定を考えてみましょう。お互いに、まだ自分のカードの内容については内緒です。
- 全員がそれぞれのカードの人物について理解できたら、横一列に並びます。そしてリーダーが順番に、右記のさまざまな「状況」を読み上げます。もしその状況がカードの人物にとって問題なければ、一歩前へ出ます。もしその状況が学校に行くのを阻む、あるいは学校に行きにくくなる要因となる場合は、一歩後ろへ下がります。  
役割カードは、細部まで十分に説明されているわけではありません。もし、状況が問題を生み出すのか前向きなのか、カードからでは十分に判断できなければ、あなたがそのキャラクターを作り上げてください。

- 誰が一番学校からかけ離れているか、後れを取っているかを見てみましょう。この活動の後、学習の障害となるものについてじっくりと考え、どのようにそれらを乗り越えられるかを考えてみましょう。下記の「考えるポイント」も利用して、考えをまとめましょう。

### 状況

- 学校は、学校の設備や教材整備のために、1万円の寄付を求めます。
- 先生は、優秀な生徒だけを支援します。なぜなら、その他の生徒は馬鹿だと思っているからです。
- 学校は、女子と男子の共学にすることにしました。
- 学校は、あなたの家から25 km離れたところにありバスや電車はありません。
- 学校は、給食を提供しません。
- 通学路に軍が検問を設置しています。
- あなたの教室は、3階でエレベーターはありません。
- 先生はあなたにコンピューターとインターネットを使って宿題をするように求めています。
- 3回以上落第点を取ると、退学です。
- 学校は、隣国への修学旅行を計画しています。
- 学校は、収穫期間に試験をします。

### 考えるポイント

- 前に進んだとき、後ろに戻ったとき、どう感じましたか？それはなぜでしょう？
- 自分が前に進み、友達が後ろに下がったとき、どう感じましたか？その逆では？
- 何人かのキャラクターが後ろに下がらなくてはいけないのは、なぜだと思いますか？その原因は何でしょうか？この質問の後、あなたのキャラクターの背景と、前へ進んだあるいは後ろへ下がった理由についてみんなと共有しましょう。
- 何が学習の障害になるのか分かりましたか？
- どうすればその障害を克服できるでしょうか？

## 役割カード



あなたは貧困家庭の出身です。1日1食分のお金しかありません。お金を稼ぐために定期的に母親を手伝わなければなりません。



あなたは厳格で信仰深い家庭の出身です。異なる性の人と共に遊ぶ、もしくは共に活動することは禁じられています。



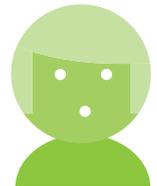
あなたは車イスにのっています。あなたは一人っ子で十分に世話をしてもらっています。しかし、特別な設備を備えるためのお金はありません。(例：自動車等)



あなたは農家の子どもです。収穫期は、いつも畑仕事を手伝わなくてははいけません。あなたは優秀な生徒です。



あなたは事故に遭い、歩行が困難です。あなたの身体的障害のために、知的障害もあると、先生たちは考えています。



あなたは授業がよくわかりません。あなたには説明がもっと必要ですが、家では誰もあなたの宿題を手伝ってくれません。



あなたのお父さんは、政敵です。あなたの家族は、厳重に監視されています。あなたは、権力者たちがあなたたちの生活を困難にしようとしていることを知っています。



あなたは、首都郊外の緑に囲まれた素敵な家に住んでいます。お父さんとお母さんは、二人とも、大きな銀行で働いています。



あなたは大家族の一員で、学校が終わったら、弟や妹の世話を手伝わなければなりません。あなたは、学校で頑張ろうと思っていますが、あなたの両親はとても忙しいです。

## 3. 教育に壁はない

### 教育の道のり (すごろく)

	教育を受ける権利と教育の障害となるものを認識する
	45分
	地面に線を引くためのチョークや石 (野外の場合) / すごろくの駒となる物 (各グループ一つ)
	年少部門 / 人数制限なし

### 活動方法

1. 野外の場合は、地面に24個の四角いマスをつなげた道を描き、各マスに1~24の番号をスタートから順番につけます。(チョークを使う、または砂に棒で描いてもよいでしょう。) 屋内の場合は、大きな紙に24個のマスを描き、番号をつけておきます。24番目のマス「学校を卒業する」に進むとあがりです。
2. 5つのグループに分かれます。人数が少なければ、一人一つの駒ですごろくをすることもできます。それぞれのグループが、順番にさいころをふります。または帽子や箱の中に1から6までの数字を書いた6枚の紙を入れて、紙を1枚取り出して、さいころの代わりに使えます。グループの一人がマスの上に立つ、あるいは駒をマスの上に置き、さいころの目の出た数の分、マスを進みます。



3. グループの人や駒がマスを進んだら、司会者は止まったマスの番号にあたる状況や指示を読み上げます。グループの人が指示通りの活動をしたら、次のグループがさいころをふります。最後のマスに進んだグループが勝ち。終わったグループは、他のグループを手伝い、全員があがれるようにしましょう。



## 3. 教育に壁はない

### 固定観念を打ち破る

	若い女性たちの間に、科学、技術、工学、数学系の職業を追求するための関心を高める
	35分 (導入、ブレインストーミング: 15分, 出した意見を共有し、行動計画を立てる: 20分)
	なし
	年長部門/人数制限なし

### 活動方法

学校の理数系教科では、女子は男子と同等の成績をとります。

ところが、エンジニアのような専門家として働く人々に目を向けると、ほんの一握りしか女性がいません。不公平ながらもそれが現状です。

1. 団の中で誰か、女性のエンジニア、女性の数学者、または科学技術の分野で働く女性を知っているか尋ねてみましょう。おそらく、ほんの少しの稀な事例しか知られていないでしょう。
2. 5～6人のグループで、なぜ「STEM」と呼ばれる科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、数学 (Mathematics) の専門分野の職業に就く女性が少ないのか、思いつくりの理由をあげてみましょう。
3. その結果を共有しましょう。そして、自分たちの説明と右記の研究結果を比べてみましょう。そして、科学、技術、工学、数学の分野への若い女性の関心を高めるために、あなたができることを考えてみましょう。

### 科学、技術、工学、数学 (STEM) における女性不足の理由の研究結果

- 多くの人が科学や数学は男性の分野であるのに対し、人文科学や芸術は女性の分野であると思っています。このような固定観念の影響により、少女たちの理数系への関心が低くなっています。
- 一般大衆は男性の職業に女性が就くことに否定的です。男性的な職業での女性の働きを信用しないので、女性は同等の能力を持つ男性以上に働かないと社会的に認めてもらえません。女性は男性と同等に働けると示す必要があります。
- 学校教育環境では、女子生徒に理数系教科を奨励していません。女子生徒にも高度な能力や発達が可能であると理解してもらう必要があります。少女のうちから成長志向を持たせる必要があります。
- 少年のほうが少女よりも数学ができるという思い込みも少女たちのテスト結果に悪い影響を与えています。もし、先生、保護者、リーダーたちが少女たちにSTEM教科で同じぐらいの才能があると伝えれば、少年たちと同等の成績になるでしょう。
- 児童の理数系教科の成績は同等であるにもかかわらず、思い込みにより、少女たちは理数系を苦手と思っています。理数系教科においても少女の成績は男子と同等に良いことを強調する必要があります。
- 理数系科目に関連する空間認識能力については、女子よりも男子が優れている傾向にあります。しかし、空間認識能力は簡単にトレーニングすることができ、少女にとって理数系教科の職業における成功、自信、興味を増すことができます。
- 理数系分野において少女たちが尊敬でき、模範となる女性がとても少ないです。

## 固定観念を打ち破る提案

- STEMを学び、STEM関連の分野で働いている女性を団に招待しましょう。
- 勉強を助け合い、宿題をし、難しい問題を説明するなどの活動ができるSTEM科目の勉強グループを作りましょう。
- 学校で友達と話をしましょう。そこで、少女と女性が科学、技術、工学、数学(STEM)分野において過小評価される理由を話し合い、女子生徒たちが自信を高められるようにしましょう。世界で活躍したエンジニア、科学者あるいは数学者で、興味を引くようなお手本となる女性の話をしてください。



## 3. 教育に壁はない

### 科学展

	若い女性に科学・技術・工学・数学方面の職業に関心を持たせる
	午後
	あなたが選んだ実験（実験例を参照）に必要なもの
	年少部門／人数制限なし

### 活動方法

1. おもしろい科学実験や技術活動を探してみましょう。インターネットで探すか、次の実験例のどれかをやってみましょう。
2. いくつか科学的な実験を準備して、科学展を開催しましょう。地域の同年齢の少女を招き、科学展に参加するよう呼びかけてみましょう。



### 活動のアドバイス

どんな実験があるか、学校の理科の先生に相談してみてもいいですね。また、保護者を招いて、一緒に実験してもらおうのもよいでしょう。

### 楽しい科学の実験例

#### ○浮かぶ卵

卵は水に浮かぶでしょうか？浮かびます。ガラスのコップに水を10cm入れてください。（水の量は、卵が浮かぶか沈むか見られれば十分です。）卵を水の中にそっと入れてください。卵は沈みます。一度、卵を取り出してください。

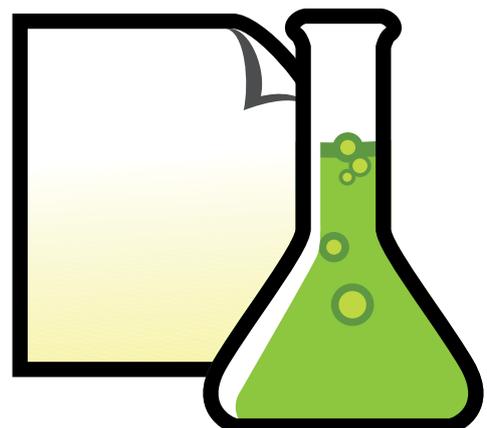
次に、スプーン2、3杯の塩を水に加えてよく混ぜます。もう一度、卵をそっと水に入れます。今度は、浮かぶはずですよ。（もし浮かばなかったら、塩をさらに加えてください。）

塩水は水よりも密度が高くなるため、入れた物を押しあがります（浮かせます）。

#### ○水と油

液体によっては、混ざらないものがあります。水に色をつけます（インクや絵の具を一滴入れてください）。その色水に油を加えてよく振ってください。油と水は絶対に混ざりません。

しかし、食器洗い用洗剤を1滴入れると、油は水に溶けます。こうして、洗剤が油で汚れたお鍋をきれいにしてくれます。洗剤が油を水に引き込むのです。



### ○静電気

ある物質をこすると静電気をおこすことができます。風船をふくらませて、口を結んで閉じてください。風船をウールの布かセーターの上でこすってください。

次に、あなたの髪に風船を近づけて、あなたの髪が風船にくっつくのを確認してください。風船は天井にもくっつくでしょう。静電気は、物体を引き付けるのです。

### ○味、それともにおい?

りんごとじゃがいもの皮をむき、それらを同じ大きさのサイコロ状に切ってください。

グループのメンバーの一人が実験台となり、鼻をつまみます。(洗濯バサミを使うか、指できつくつまんでください)。

実験者は、切ったりんご、またはじゃがいものどちらかひとつを実験台の人に渡し、味わってもらいます。

(においを嗅ぐことのないように注意しましょう。)

実験台の人は、それがりんごかじゃがいもかを答えます。違いに気がつくことはほとんどできないでしょう!

この実験は、私たちは鼻で味わうことを証明します!

### ○植物の生育を観察する

ガラスのコップに土をいっぱい入れてください。土の中に種(かぼちゃ、豆、その他)を外側から見えるように植えます。土は湿った状態に保ちますが、水をあげすぎないようにしてください。

小さい種から植物がどのように育つのかを観察しましょう。

与える水の量を変える、光の当たり方を変えるなど異なる実験をして、植物にどのように影響するか発見してもよいでしょう。

### ○熱いと速く、冷たいと遅い

熱い液体の中の分子は、冷たい液体より速く動きます。

お湯と冷たい水を入れるコップを一つずつ用意します。コップに同量の水とお湯を入れてください。

それぞれのコップにインクまたは食品用の着色料を注意深く1滴入れて、何が起こるか確かめてください。

色は、お湯の中ではとても速く広がり、冷たい水の中ではゆっくり広がります。この実験では、水分子がいか

に速く動くかを見ることができます。



## 4. ガールガイド・ガールスカウトにおける教育

### 好きな活動

	ガールスカウト活動で学んだことを振り返り、よく考える
	20分+好きな活動を実施する時間
	なし
	年少部門/人数制限なし

### 活動方法

- 5～6人のグループに分かれます。グループの中でメンバーがそれぞれ、自分の一番好きなガールスカウトの活動を挙げ、それらの活動から学んだことについて話し合います。
- 挙げられた活動の中で、一番学びがあったと思う活動に投票します。投票数の一番多かった活動を自分たちのグループでもう一度できるように企画しましょう。または、その体験学習を他のグループと共有できるように、プログラムを企画して提供しましょう。

### 歴史に学ぶ

	ガールスカウト運動の長い歴史と、その中で学習がどのように発展してきたかについて学ぶ
	30分
	なし
	年少部門/人数制限なし

### 学習認定証

	活動を通して学んだことを評価し、それに対する認定証を授与
	40分 (評価: 20分、認定証作成: 20分)
	紙、クレヨンやペン (あるいは、コンピューターとプリンター)
	年少部門/人数制限なし

### 活動方法

私たちはガールガイド・ガールスカウト活動を通して、多くのことを学習しており、それは大変素晴らしいことです。そこで、私たちの人生において学んだことに対し、人々を表彰しましょう。

- 2人1組になり、過去数週間の活動の中で何を学んだかについて、話し合います。
- 各々が学んだことを示す認定証を作りましょう。コンピューターで認定書を作成することもできますし、紙とクレヨンやサインペンで独創的なものを作成することもできます。認定証には、パトロールの他の人に署名をしてもらいましょう。

### 活動方法

あなたの団の以前のリーダーを招待し、過去にどんなガールスカウト活動をしていたか話してもらいましょう。彼らは、どんな学習方法を用いていましたか？図書館、インターネット、元リーダーを活用していましたか？あなたの学習方法と比較してみましょう。

# 4. ガールガイド・ガールスカウトにおける教育

## 違いを体験しよう

	学校教育とノンフォーマル教育（学校外教育）の違いを体験
	60分（準備活動：30分、実習：10分＝5分×2回、振り返り：20分）
	（先生役用）紙かサインペン、または黒板とチョーク（リーダー役用）靴ひも
	年長部門／人数制限なし

## 活動方法

### ○準備活動

私たちは学校で多くのことを学ぶように、ガールスカウト活動でも同様に多くのことを学びます。それでは、何が違うのでしょうか？

1. 学校で学ぶことと青少年団体に学ぶことの違いをできる限り多く挙げてみましょう。そして、それらを、大きな紙に「学校」と「青少年団体」の二つの欄に分けて書き出します。
2. 書き出したものを見ながら、二つの欄の違いは何か、次の点について比較してみましょう。
  - ・違うことは何でしょうか？同じことは何でしょうか？
  - ・それぞれが実施している活動は、なぜ実施しているのでしょうか？
  - ・共通点は、あるでしょうか？

### ○実習

1. 2人のボランティアを募りましょう。そのうちの一人は、先生役になり、もう一人は、青少年団体のリーダー役になります。2人とも、グループの残りの人に靴ひもの結び方を教えます。先生役の人は、黒板（または紙）に絵を描きながら教室の前で話すだけで、靴ひもの結び方を説明します。説明を終えたら、先生は、誰か一人を指名し、靴ひもの結び方を繰り返して言ってもらいます。先生は、その答えが合っているのかそうでないかを判断します。

青少年団体のリーダー役は、グループに円になって座ってもらい、各自の片方の靴（靴ひものあるもの）を脱ぐように指示します。リーダーは、一つずつ段階を追って、自分の靴で靴ひもを結んで見せます。リーダーは、随時みんなが理解しているかを確認しながら進めます。次に、グループの皆が2人1組になり、靴ひもを結ぶ練習をします。リーダーは、楽しい雰囲気や前向きな感想が得られるように、冗談も交えながら会場を回って、手助けします。



## 活動のアドバイス

グループの人数が多い場合は、何人かにオブザーバーになってもらうこともできます。オブザーバーは、みんなの身振り手ぶりや態度を見て、先生に対する反応、リーダーに対する反応を観察しましょう。

2. 2つの実習が終わったら、同じ事を学ぶための異なる教育方法について話し合ってみましょう。下記の考えるポイントを参考にしましょう。オブザーバーには、それぞれの観察結果を聞いてみましょう。



## 考えるポイント

- ・この2つの実習をやっている時、どのように感じましたか？どちらの教え方がよかったでしょうか？それはなぜでしょうか？
- ・それぞれの教え方の長所と短所は何でしょうか？
- ・どちらか一方が優れた教え方なのでしょうか？もしくは、どちらも補いあうものなのでしょうか？
- ・指導方法は、学ぶ人の学習方法に合わせるべきでしょうか？それは、なぜでしょうか？
- ・学校教育とノンフォーマル教育のどちらかの方が、よりよく学ぶことができることがありますか？
- ・異なる取り組み方をどのようにしたら、よりよくすることができのでしょうか？